

## パナマ内政・外交（2019年2月定期報告）

### 【ポイント】

○本年5月の大統領選挙に関し、7名全ての大統領候補が副大統領候補を選挙裁判所に登録した。

○サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、米国ワシントンを訪れ、ポンペオ米 국무長官及びムニューシン財務長官とそれぞれ会合を持った。

○バレーラ大統領は、パラグアイを訪れ、ベニテス同国大統領との間で、首脳会談及び関係閣僚を含めた拡大会合を実施した。

### 【本文】

#### ●内政

##### 1 副大統領候補の決定

5日、本年5月の大統領選挙に関し、7名全ての大統領候補が副大統領候補を選挙裁判所に登録したところ、概要以下のとおり。

(1) 政党連合「力を合わせて」（PRD党・モリレナ党）

- ・大統領候補：コルティソ元農牧開発大臣
- ・副大統領候補：ホセ・ガブリエル・カリソ弁護士

(2) 政党連合「パナマ・ポデモス」（パナメニスタ党・民衆党）

- ・大統領候補：ブランドン現パナマ市長
- ・副大統領候補：ニルダ・キハーノ元コロロン・フリーゾーン代表

(3) 政党連合「目覚めのための変革」（CD党・アリアンサ党）

- ・大統領候補：ルークスCD党総裁
- ・副大統領候補：ルイス・カシス・テレビキャスター

(4) 民主拡大戦線（FAD）党

- ・大統領候補：メンデスSUNTRACS代表
- ・副大統領候補：マリベル・ゴルドン経済学者・大学教授

(5) （政党無所属）

- ・大統領候補：アナ・マティルデ・ゴメス議会議員
- ・副大統領候補：ホルヘ・アラngo元農牧開発大臣

(6) （政党無所属）

- ・大統領候補：アメグリオ元議会議長
- ・副大統領候補：マリオ・ボイド・ガリンド元駐伯パナマ大使

(7) （政党無所属）

- ・大統領候補：ロンバナ弁護士
- ・副大統領候補：ギジェルモ・マルケス・アマド元選挙裁判所判事

## 2 世論調査の発表期限の延長

16日、当国選挙裁判所は、世論調査結果の発表期限を投票日の20日前とする選挙法規定が、国民の表現の自由等に反するとして48時間前までに延長するとした最高裁の判決を受け、発表期限を延長する旨発表した。

## 3 第一回大統領候補者公開討論会の開催

(1) 20日、大統領候補者7名全員が出席した国立パナマ大学主催の第一回公開討論会が行われた。会場には、大学関係者、学生及び当地外交団等1200名が招待された他、公開討論会の様子は、当国TVによって全国に放送された。

(2) 討論会では、各候補者が、教育、食糧安全保障、保健及び憲法改正の4つのテーマに関し2分の持ち時間で公約を中心に説明し、その後モデレーターが、各候補者説明に対して質問し、候補者が回答するという形で行われた。

(3) 第二回公開討論会は、4月に商工会議所(CCIAP)で行われる予定。

## ●外交

### 1 サイン・マロ副大統領兼外務大臣の米国ワシントン訪問

(1) 4日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、米国ワシントンを訪問し、ポンペオ米務長官及びムニューシン財務長官とそれぞれ会合を持った。

(2) サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、ポンペオ米務長官との間で、テロとの闘いや地域情勢等二国間アジェンダ及び強力プログラムの進捗について確認を行った。

(3) ムニューシン財務長官は、米国財務省は、パナマの金融プラットフォームの高度化及び新たな法律の制定及び実効に関する同国の進捗を緊密にフォローしている旨述べた。またこれらの規範が実行されるための米国側の用意を表明した。

### 2 バレーラ大統領のパラグアイ訪問

(1) 14日、パラグアイを訪問したバレーラ大統領は、ベニテス・パラグアイ大統領と首脳会談を実施した。

(2) 首脳会談の後、両首脳は、両国関係閣僚が出席する拡大会合を実施した。パナマ側からは、ゴンサレス貿易産業大臣、イム観光大臣及びモレノ駐パラグアイ大使、パラグアイ側からはベラスケス副大臣、カスティグリオーニ外務大臣、リチ農業大臣、クラメル産業貿易大臣及びモンティエル観光大臣が出席した。同会合では、貿易、観光及び治安分野における二国間アジェンダの活発化

に向けた、友好・協力関係の促進の重要性について強調した。

(3) その他、両国首脳は、パラグアイ国家防衛省及びパナマ治安省間の学術協力に係る覚書、そしてパラグアイ国家情報当局及びパナマ国家安全保障会議事務局間の覚書、右2つの法的文書の署名に立ち会った。

### 3 パナマ・コスタリカ首脳会談

(1) 20日、当国チリキ県ボケテにおいて、バレーラ大統領及びアルバラード・コスタリカ大統領による首脳会談が行われ、両国首脳は、治安、観光及び貿易等の分野における二国間政策を強化することへの関心を確認した。

(2) その後、治安に係る作業部会を行い、最近のキューバ及びハイチからの移民流入につき、両首脳は、両国の利益に配慮しつつ、移民への人道支援を保証し、人身取引を防止すると共に麻薬密輸対策を強化する、二国間移民管理プログラムを強化することに合意した。

### 4 バレーラ大統領のリマ・グループ会合出席

(1) 25日、バレーラ大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領の招待により、グアイド・ベネズエラ暫定大統領を支援するための第11回リマ・グループ会合に出席した。同会合には、ペンス米副大統領を始めとした域内首脳及び外相級の代表が出席した。

(2) 同会合のマージンで、バレーラ大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領と会談を行い、自国を去ることを強いられた百万人以上のベネズエラ人の受け入れ等、地域に影響を与える今回の危機におけるコロンビア政府のリーダーシップを評価した。

(3) また、バレーラ大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領及びグアイド・ベネズエラ暫定大統領を含めた三者会談を行い、ベネズエラが平和裡且つ民主的な移譲へと進むために、国際レベルにおいて調和のとれた形で採られるべき次の方策につき協議した。

(了)